

事業の名称：大東食堂「ふらっと」から生まれる、つながりのカタチ

団 体 名	大東地区自治振興協議会	事 業 費	172,962 円
代 表 者	光谷 由紀子	補助金交付額	100,000 円

現状と課題

大東地区では人口減少、少子高齢化、小世帯化、職場環境の変化などが進んでおり、子どもたちのふれあいの場、年代を超えたふれあいの場が少なくなっている。さらに、子ども、高齢者の個食も増加している現状がある。このことは、地域の次世代を担うべき若者同士の結びつきの減少にもつながっている。

事業の目的

年代を超えたふれあいの場として、親子でも、子どもひとりでも、おとなひとりでも参加でき、安心できる居場所を提供することをめざす。また、新たな担い手となる地元高校生、中学生の参画により協力して事業に取り組むことで、これからの地域を担う世代とのつながりづくりをめざすことを目的とする。

実 施 内 容

◇実施状況

【こども地域食堂・大東食堂「ふらっと」の開催】

①発起人会、スタッフ会議、活動準備会 15回

②「ふらっと」実施 6回

※参加料：子ども 100 円、大人 200 円

7/24 (55 人)、8/21 (49 人)、10/9 (49 人)、

12/20 (48 人)、2/1 (64 人)、3/8 (45 人) 計 310 人参加

(11/15 は小学校インフルエンザにより中止)

③雲南市立病院祭に活動状況のパネル展示 (9/20)

◇成果と課題

夏休み中での 2 回の実施から合計 6 回開催し、子どもから高齢者まで、スタッフも合わせて延べ 310 人の参加を得られた。活動のスタッフとして地元高校生、中学生のボランティア参加もあり、年代を越えたふれあいや親子での参加、独居高齢者の参加など地域におけるつながりづくり、地域への愛着醸成が進んだと感じる。また、米や野菜などの地元食材の寄付も多く寄せられ、地域からの応援も得ながら実施することが出来た。

今後も継続し、いろいろな人の参画により地域におけるさらなる多世代のつながりづくりを進めることが肝要である。

